

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成26年度 第3回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

I. 日 時：平成26年11月17日（月）午後1時30分～午後3時5分

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館 会議室（6F 伊吹南）

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、田辺委員、白崎委員

齋藤アドバイザー、青木アドバイザー、吉永アドバイザー、桑原アドバイザー（代理）、滝島アドバイザー（代理）、岸アドバイザー（代理）、井端事務局長、森下、岡本（記録）

IV. 資 料： 1. 平成26年度「社会スタディの場」の開催準備についての検討事項  
2. 第2回 未来を切り拓く志を支援する「社会スタディの場」開催概要（案）

V. 検討内容

1. 平成26年度「社会スタディの場」の開催準備についての検討事項

事務局より資料に基づき「社会スタディの場」開催準備について、理事会での指摘事項に対する検討が行われ、審議の結果以下の通りとした。

(1) ネット上での公開について

- ① 昨年度の参加学生から11月27日まで期間を限定し、公開、非公開の意見（アンケート）を取り参考とすることとした。
- ② 公開する場合は、個人情報に注意し参考となる質疑応答の場面とする。また、発言者を特定しないよう遠景で背景からの撮影として編集する。
- ③ グループ討議は公開しない。
- ④ 動画は本協会のホームページに掲載し、加盟大学及び非加盟大学（国・公・私立）の学長、FD教務関係者にも通知する。

(2) 昨年度の開催を踏まえ、改善すべき事項について

- ① 昨年は教員からの一括申し込みがあり、提出論文の趣旨に合わない内容が見られたこともあり、学生本人の申し込みとする。
- ② グループ討議の座席指定を行ったが、欠席者が出た場合を考慮し、柔軟に対応する。
- ③ 有識者への質問をまとめてとつたため、150件の質問に対し3件の回答のみであった。今年は、挙手形式とする。なお、予め司会から限られた時間内の有益な質問をするよう説明することとした。
- ④ グループ討議時間が足りない（実質30分程度）との意見があったので、今回は、最大80分を企画した。
- ⑤ 「優秀証」の評価基準がなく、評価のばらつきがあったので、今回は小委員会を設置して「評価基準」を作成することとした。なお、作成された評価基準は委員会に諮問することとした。
- ⑥ 「優秀証」の選考結果の通知方法については、昨年どおり対象者個人と大学長宛に通知する。
- ⑦ 「優秀証」の報告書の開示については、報告書を真似される恐れがあることから開示せず、昨年同様、氏名・大学・学部・学年のみとする。

(3) 就職関係機関への協力要請について

ディスコ、リクルート、マイナビの3社とすることとした。

(4) 会場提供企業への対応について

昨年、会場提供企業から「社会スタディの場」を企業PRとして自社のWebに掲載したいとの要請があったが、断っているため、今回も昨年同様とすることとした。

(5) 参加募集の対応について

参加者募集については、12月1日に発信する。

- ① 大学関係については、加盟大学及び非加盟大学(国・公・私立)の学長宛に開催要項を送り、参加協力を要請することとした。
- ② 大学教職員については、本協会の役員・委員に関係する学生の参加への協力を要請する。また、サイバーFD 研究員には直接メール配信し、学生の参加への協力を要請することとした。
- ③ 関係機関  
報道関係に「社会スタディの場」の開催案内、開催結果をプレスリリースし、協力を要請する。取材が入った場合には評価基準・講評結果を伝え、学生の主体的動きを周知し、将来に向けて産学連携事業を理解してもらうこととする。

(6) 応募者の小論文審査、当日の運営委員、報告書の審査について

12月22日開催の第4回委員会で決定する。

- ① 応募者の小論文審査の構成委員は、委員長、副委員長、委員、事務局長の5名程度とし、審査を1月16日～1月23日までとする。
- ② 参加者の報告書審査の構成委員は、委員長、副委員長、委員、事務局長の5名程度とし、報告書の締切日を3月5日頃、報告書審査を3月10日～3月23日までとする。

**2. 第2回 未来を切り拓く志を支援する「社会スタディの場」開催概要(案)**

事務局より資料に基づき「社会スタディの場」開催概要案について説明があり、審議の結果、一部修正の上承認された。

- ① 開催主旨の文章  
「経済・財政の健全化」を「経済成長・財政の健全化」と訂正する。
- ② プログラムの進め方  
「各有権者から映像情報を交えて30分程度の説明や質疑応答を行い」を「20分程度の説明と30分程度の質疑応答」と訂正する。
- ③ 「クリッカーで確認しながら」を削除する。但し、クリッカーを使用できるよう準備する。
- ④ 「優れた内容については、「優秀証」を発行し」を「受証者は」と訂正する。
- ⑤ 募集数については、会場のキャパシティを考慮し、100名(椅子席)とする。
- ⑥ その他：募集ポスターを大学内の掲示板で情宣するため、PDF(A4版)で配信する。

**3. 次回産学連携推進プロジェクト委員会の開催日**

平成26年12月22日(月) 10:00～

以上